

どんな格好がいいのかな？

～マングローブ散策編～

春～夏

季節によらず、日差しが強いと感じたら..



紫外線対策

夏本番でなくても日差しが強い日が多いです。

マングローブ散策では、林の中だけでなく日陰のない干潟も歩きます。また、生き物観察や遊びに夢中になってうっかり日焼け、ということもあるので、しっかり紫外線対策をして出かけましょう！

帽子や日焼け止めはもちろん、薄手の長袖を羽織るなど、肌の露出を抑えるのがポイントです。首筋の後ろは、タオルや手ぬぐいを巻くと汗も拭えて便利です。

どこまで濡れる？

潮位にもよりますが、ひざ下位まで濡れることがあります。

また、ぬかるんでいる場所もあるので、ビーチサンダルよりクロックスのようなサンダルがおすすめです、(サンダル貸出あります)

思い切り遊んでも困らないよう、お子様は着替えを準備して頂くと安心です。

秋～冬

季節によらず、肌寒い日・風の強い日・雨天時も。



北風対策

海の近くなので、陸地より風が強いことが多いです。

最後までゆっくり散策できるよう寒さ対策は万全でいきましょう。少し着込んだ上にウィンドブレーカーやカッパなど、風を通さない上着を重ねるのがおすすめです。ビニールカッパも結構効果がありますよ。(カッパの貸出あります)

どこまで濡れる？

夏場と同様、ひざ下位まで濡れることがあります。

長ズボンでも、まくって頂きそのまま参加できます。

気温が特に低い場合は長靴を用意致しますので、お気軽にご相談ください。

どんな格好がいいのかな？

～デイカヤック編～

春～夏

季節によらず、日差しが強いと感したら..



紫外線対策

夏本番でなくても日差しが強い日が多いです。

しっかり紫外線対策をして出かけましょう！

帽子や日焼け止めはもちろん、薄手の長袖を羽織るなど、肌の露出を抑えるのがポイントです。

首筋の後ろはタオルや手ぬぐいを巻いて対策するのがおすすめです。

どこまで濡れる？

腰から下が濡れます (パンツも！)

海パンや濡れてもいいズボンでの参加をお願いします。

上半身も濡れることがあるので、全身濡れてもよい恰好と着替えの準備をお願いします。

秋～冬

季節によらず、肌寒い日・風の強い日・雨天時も



寒さ対策

「沖縄は暖かいと思ってた..」という言葉が聞かれる位、時には肌寒い日もあります。特に海上ではより寒く感じるので、暖かくして行きましょう。

上半身は少し着込んだ上に、ウィンドブレーカーやカッパなど風を通さない上着などを着るのがおすすめ。

下半身は長ズボンやジャージなどがあればより暖かいです。

どこまで濡れる？

やはり、腰から下が濡れることが多いです。

夏と変わらず着替えの準備をお願い致します。